

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム陽気

目標達成計画

作成日: 令和元年 6 月 2 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
。	15	食事介助が必要な利用者様に対して、食事を提供するまでに待たせてしまっている現状がある。職員がすぐに対応できていない。	職員が介助に入るまでの時間を、ただその場で待っててもらうのではなく、居室や、ソファにて待っていただく。その間、音楽や談話の中に入り、待っている時間も寂しさを感じることをないように配慮する。	早番、遅番、二人の職員で昼食介助に入ることにし、今までの業務のタイムテーブルの見直し、「遅起こし」など待っていただくことに対しての工夫を考え対応する。	1ヶ月
2	17	「入浴」が全てになっていないか。利用者様の体調に合わせたケアはもちろん、それだけになってしまっていないかどうか、職員の「慣れ」や「当たり前」になっていないか。	お風呂が好きなのに、長く入りたいが体力的に難しい。ならば、足浴や手浴などできる事を取り入れていきたい。	正しいレベルのケアを提供しながらも、利用者様の気分転換や、リフレッシュの時間になるように、今一度、自分たちの介助を見直します。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。